

第2回名古屋大学日本語教育研究集会予稿集

発表者	タイトル	頁
杉村 泰	収束する「に」、進化する「へ」	2-5
李 善姫	韓国人日本語学習者の不満表明に関する一考察 —不満表明ストラテジーの場面別使用傾向—	6-9
鈴木智美	接辞「～めく」の意味	10-13
家田章子	「～という」の文法化 —逆接表現との共起—	14-17
林 佩芬	日本語の「一+助数詞」の意味 —中国語・英語との対照を通して—	18-21
名嶋義直	学習者はノダをどのように位置付けているか	22-25
許 永蘭	複合動詞の後項「～きる」と「～つくす」の類義分析	26-29
加藤理恵	日本語教育の諸問題 —類義語分析 指向動詞「めざす」と「ねらう」—	30-33
木下りか	形容詞の装定用法をめぐる一考察	34-37
古川智樹	「そうか／そっか」のあいづちの機能と日中接触場面における 中国人日本語学習者のあいづちの誤用分析	38-41
三谷閑子	作文の評価手順が評価に及ぼす影響について —analytic scoring の採点に関して—	42-45

時 2004年8月9日(月)

場所 名古屋大学大学院国際言語文化研究科棟 LL22 番教室

主催 名大日本語教育研究集会実行委員会

※本研究集会は財団法人大幸財団の助成によるものである

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/>